

第135回 北信越地区高等学校野球大会報告書(平成28年度秋季)

新潟県高等学校野球連盟審判部

北支部 藤井 義文

南支部 池田 保

期 日:平成28年10月15日(土)～10月16日(日) 1回戦、準々決勝

平成28年10月22日(土)～10月23日(日) 準決勝、決勝

場 所:長野県松本市野球場、諏訪湖スタジアム、県営上田野球場

主 催:北信越地区高等学校野球連盟

主 管:長野県高等学校野球連盟

後 援:長野県教育委員会、松本市、諏訪市、上田市及び3市教育委員会

< 審判委員打合せ >

平成28年10月14日(金) 午後2時～ 長野県松本市野球場

開会挨拶 長野県高等学校野球連盟 会 長 丸山 智之 氏

長野県高等学校野球連盟 審判長 高橋 京一 氏

派遣審判委員 富山県派遣委員 野村 慎吾 氏、澤 徹 氏

石川県派遣委員 作本 彰 氏、勝二 泰博 氏

福井県派遣委員 田中 進 氏、山路 俊彦 氏

新潟県派遣委員 藤井 義文、池田 保

【メカニクスの確認について】

- ・平成28年度「高校野球審判の手引き」通りとする。

【大会審判上の取り決め事項の確認】

- ・野手の一人タイム要求時は、すべて受け付ける。
- ・地区ごとの取り決めについて確認されたが、野球規則で対応する。
- ・攻守交代をスピーディーに促し、70秒を目標とする。
- ・選手の生命を最優先する。体調不良及びケガの治療は5分を目安として、判断してもらう。
- ・攻撃タイム時、打者と走者に伝令を出す場合は、それぞれに伝令を出す。打者と走者を集めて一人の伝令が出るのはやめさせる。
- ・用具点検は、第一試合は攻守決定後すぐに、第二試合はベンチ入れ替え後に会場にいる審判員で手分けして一斉に行う。

【重点事項・試合に関する諸規定・大会注意事項】

- ・既に通知ある内容について、確認した。

【担当試合の報告及び所感】

10月15日(土) 一回戦 球場:松本市野球場

第一試合 高岡商業(富山県1位) VS 飯山(長野県4位)

球審:池田、一塁:藤井、二塁:三村氏(長野県)、三塁:志摩氏(長野県)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
高岡商業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
飯山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[池田]

- ・メイン会場の開幕戦で球審を担当させていただきました。
- ・緊張感もあり、初回は舞い上がっていましたが、序盤以降はいつも通りにジャッジできたと思います。
- ・審判会議で試合時間(二時間)について意識するよう言われていたのですが、両投手が良かったこともあり二時間を切る試合ができました。

[藤井]

- ・初戦ということで緊張しながら試合に臨みました。普段通りにジャッジできたと思います。
- ・しかし、一塁ベース付近で打者走者と一塁手の接触があり、接触のシグナルは出しましたが、プレー終了後に他の審判員と確認する場を持たなかったことが反省点です。

10月16日(日) 準々決勝 球場:諏訪湖スタジアム

第一試合 福井商業(福井県1位) VS 高岡商業(富山県1位)

球審:藤井、一塁:池田、二塁:大平氏(長野県)、三塁:小野寺氏(長野県)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
福井商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡商業	0	0	0	4	0	0	1	0	×	5

[池田]

- ・一塁でのプレーが多くありましたが、落ち着いてジャッジできたと思います。
- ・中盤以降は風向きが変わり強風になりましたが、アイコンタクトやジェスチャーでクルーのコミュニケーションがとれて、何事もなく試合を終えることができました。

[藤井]

- ・自分なりにしっかりと「トラッキング」して判定できたと思います。
- ・片方のチームが一人タイムを10回以上取得しており、試合時間は2時間弱でしたが、スムーズな流れの試合にはなりませんでした。
- ・三塁ベース周辺でランナーのオーバーランがあり、守備側より抗議がありました。四審で確認して抗議を認めませんでしたが、そのことを説明するよう会場審判長より指示があり、マイクでプレーの説明をしました。幸い両ベンチ、スタンドも納得していただき試合を再開することができました。

10月22日(土) 準決勝 球場:松本市野球場

第二試合 日本航空石川(石川県1位) VS 福井工大福井(福井県3位)

球審:岩崎氏(長野県)、一塁:藤井、二塁:澤氏(富山県)、三塁:池田

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日本航空石川	0	1	0	0	0	1	2	4	0	8
福井工大福井	4	2	1	0	0	0	0	0	3	10

[池田]

- ・打球を処理している野手と走者が接触する守備妨害がありました。その後、タイムをかけるタイミングが間に合わず野手が本塁に送球してしまいました。
「守備妨害でランナーアウト」の処置は変わりませんが、次のプレーをさせないように早く止めることができれば良かったと思います。
その後もプレーが続きミスが重なったりすると、妨害の適用にチームが納得できないと思われる、収まりの悪い試合になる可能性があります。
- ・的確な判断、タイミングでジャッジできるように準備したいと思いました。

[藤井]

- ・両チームに得点があり、試合時間の長いゲームとなりました。もう少し、時間短縮に向けて努力できる要素があったのではないかと、反省しております。
- ・終盤に外野手が飛球を追ってプレーが終了した後、倒れました。その際、最終的に担架で運ばれ選手交代になりましたが、球審は場内放送を要請し、塁審は様子を見に行く人と、ベンチに説明に向かう人との分担が必要であると反省会で指摘いただきました。

10月23日(日) 決勝 球場:松本市野球場

第一試合 福井工大福井(福井県3位) VS 高岡商業(富山県1位)

球審:藤井、一塁:勝二氏(石川県)、二塁:竹上氏(長野県)、三塁:方山氏(長野県)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
福井工大福井	0	3	2	1	0	0	0	1	0	7
高岡商業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

[藤井]

- ・光栄にも決勝戦を担当させていただきました。
- ・序盤に外野フェンス直撃の打球があり、そのボールの確認、交換を怠ってしまいました。
- ・投球判定については、しっかり「トラッキング」して判定できたと思います。
- ・高岡商業の最終回、福井工大のレフトが打球を追って足をつるアクシデントがありました。前日も同様のことがあり、試合前に審判長よりアクシデントがあった場合、審判員の役割分担の必要性を指示いただいておりますが、実際に現場に遭遇すると落ち着いて的確に対処するのは難しいと実感してきました。

< 大会を終えて >

大会期間中は天候にも恵まれ、予定通りに試合を行うことができました。また、大きなトラブルもなく、全日程を終了することができました。

今回派遣いただいた兩名は、県外派遣が初めてということで、非常に緊張しながら会場へ向かいました。しかし、長野県の高橋審判長はじめ審判委員の方々、また他の派遣審判委員の方々にあたたかく迎えていただき、普段通りにジャッジをさせていただくことができました。

試合後も、自県でのルールに関する考え方や審判に取り組む姿勢など、大いに勉強させていただきました。この機会に得た経験とご縁を大切に、一審判委員として更に日々精進して行きたいと思っております。

最後になりましたが、大会期間中お世話になりました長野県高等学校野球連盟審判部の皆様、派遣の機会を与えてくださいました、新潟県高等学校野球連盟並びに審判部の皆様に感謝申し上げます。

以 上